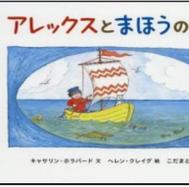


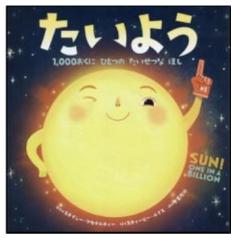
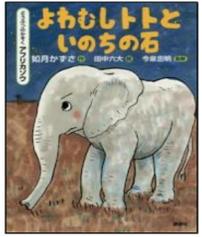
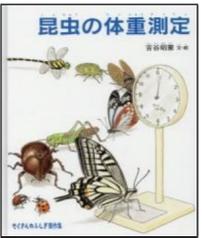
2019年度（令和元年度）

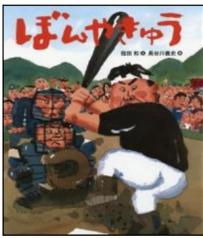
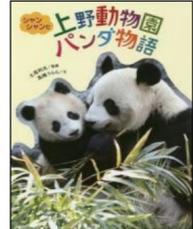
夏休みにおすすめする本

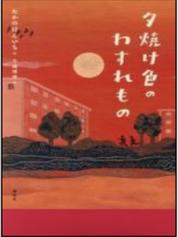
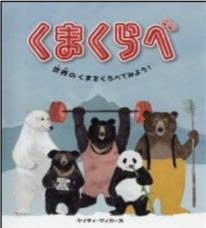
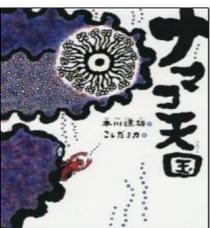
選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 本体価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
幼児				
1		おおかみのこが はしてきて 寮 美千子／文 小林 敏也／画 978-4-907542-66-5	ロクリン舎 2019.1 1,700円+税	北の大地の物語 「ねえ、どうして？」男の子がお父さんに聞きました。 アイヌの深い知恵に学ぶ命の物語。アイヌの人々に伝わる早口言葉を元にしています。 アイヌのお父さんは、「わたしたちは、みんな土からうまれてきたのだ」と子どもに教えます。 (パロル舎 1999. 3刊行の再刊)
2		いき 中川 ひろたか／作 北村 裕花／絵 978-4-7520-0881-1	アリス館 2019.2 1,400円+税	犬も息をしていることに気づいた僕は、息について考えていきます。 わかりやすく息から呼吸、地球環境を描いた絵本。 「中川ひろたかのせいかつかがく絵本」シリーズ
3		そうのヘンリエッタさん リズ・ウォン／作・絵 石津 ちひろ／訳 978-4-265-85149-2	岩崎書店 2019.4 1,400円+税	静かで落ちついた暮らしが好きな象のヘンリエッタさんが、ある日 ちよ うの雛を育てることに。 ふりまわされる日々ですが、やがて巣立ちの日がきて……。
4		えんふねにのって ひがし ちから／作 978-4-7764-0912-0	BL出版 2019.5 1,300円+税	幼稚園バスならぬ園船（えんふね）で向かう様子には、自然と触れ合うド キドキわくわくがたまっています。 そこに、思いがけず、ちょっと困った、でも、とっても素敵なハプニング が……。
5		あまがえるのかくれんぼ たての ひろし／作 かわしま はるこ／絵 978-4-418-19808-5	世界文化社 2019.5 1,200円+税	あまがえるのラッタ、チモ、アルノーの3匹が、かくれんぼをして遊んで いると、ラッタの体がへんな色に。 一体どうしてしまったのでしょうか。
小学校・低学年				
1		アレックスとまほうのふね キャサリン・ホラバード／文 ヘレン・クレイグ／絵 こだま ともこ／訳 978-4-19-864861-9	徳間書店 2019.5 1,500円+税	冒険が大好きなアレックスが、何だかってできて大忙しのお母さんに船のプ レゼントをしました。 魔法の船で、お母さんと過ごす、楽しい空想にわくわくする絵本。
2		ジャックの どきどきモンスター サム・ズッパルディ／作 福本 友美子／訳 978-4-89572-236-0	光村教育図書 2019.2 1,400円+税	がんばって練習していたのに、発表会の当日、ジャックの前にあらわれた のは、どきどきモンスター。 逃げても隠れてもくっついてくるし、どんどん大きくなってくるし…。 初めての不安をていねいに描いた絵本。
3		いまのわたしにできること リサ・パップ／作 菊田 まりこ／訳 978-4-86621-186-2	WAVE出版 2019.4 1,400円+税	念願の子犬を飼えるようになったマディは、「一番大事なことは、ずっと 大好きでいること」と教えてもらう。 ある日、シュルターに行ったマディが、感じ、行動したことは……。

4		たいよう 1,000おくにひとつのたいせつなほし ステイシー・マカナルティ／原作 スティービー・ルイス／絵 千葉 茂樹／訳 渡部 潤一／監修 978-4-09-726824-6	小学館 2019.4 1,400円+税	当たり前になっている太陽の秘密や仲間たち、地球との関係を、太陽本人がとてもわかりやすい語り口で教えてくれる 宇宙科学の入門絵本。
5		たべたらうんち ■ 978-4-86549-170-8	ひさかたチャイルド 2019.4 1,300円+税	あおむし、アマガエル、ミツバチなど身近な生き物の食事と排泄の様子を鮮明な写真で紹介しています。 きれいな写真とわかりやすい構成で生き物への興味が生まれる絵本。
6		よわむしとこのちの石 どうぶつのかぞく アフリカゾウ 如月 かずさ／作 田中 六大／絵 978-4-06-514169-4	講談社 2019.1 1,200円+税	泣き虫で甘えん坊の子象トトは、病に倒れた大好きな母を助けたい一心で、勇気を振りしぼり一夜のサバンナに飛びこみます。 巻末には「まめちしき」があり、お話を楽しみながらアフリカゾウに詳しくなれる童話。
7		ソフィー、がっこうへいく パット・ジトロウ・ミラー／文 アン・ウィルドルフ／絵 二宮 由紀子／訳 978-4-89572-234-6	光村教育図書 2019.1 1,400円+税	初めて学校に行ったソフィーは、お友だちはほしくないし、全然楽しもうとしません。そんなソフィーにステイブンという男の子がいつも近づいてきて……。 「ソフィーの絵本」2冊目。
8		やぎこ先生 いちねんせい ななもり さちこ／文 大島 妙子／絵 978-4-8340-8439-9	福音館書店 2019.1 1,700円+税	1年生の教室に、1年生先生のやぎこ先生。 子どもたちとやぎこ先生の楽しくて温かいやりとりに、きっと共感するでしょう。
9		おにいちゃんとぼく ローレンス・シメル／文 フアン・カミーロ・マヨルガ／絵 宇野 和美／訳 978-4-89572-237-7	光村教育図書 2019.2 1,200円+税	目に見えないけれど、僕のお兄ちゃんはすごいんだ。 暗闇でも本が読めるし、記憶力がいいし。 弟からみた兄との生活を透明感のある絵で描いた絵本。
10		イワシ むれでいきるさかな 大片 忠明／さく 978-4-8340-8450-4	福音館書店 2019.4 900円+税	数えきれないほどたくさんのイワシ。 時に数十億匹もの数にふくれあがる群れが、他の魚や鳥、クジラに食べられ、人間にも捕えられるが、生き延びたイワシが命を継ぎます。 「かがくのとも」絵本
小学校・中学年				
1		昆虫の体重測定 吉谷 昭憲／文・絵 978-4-8340-8409-2	福音館書店 2018.6 1,300円+税	ゾウの体重は4000kg以上。 では、テントウムシなどの小さな昆虫の体重はどうでしょう。 色々な昆虫の重さをはかったり比べたりします。 「たかさんのふしぎ」傑作集
2		まなぶ 長倉 洋海／著 978-4-7520-0843-9	アリス館 2018.6 1,400円+税	家で、学校で、社会で、いろいろな人から、いろいろなことを“学ぶ”。 ゆっくりでいいから、自分のリズムで学んでいこうと結んでいる写真絵本。

3		ぼんやきゅう 指田 和／文 長谷川 義史／絵 978-4-591-15904-0	ポプラ社 2018.7 1,300円+税	昭和30年頃から開催されてきた、ご先祖様を供養するための「盆野球」。2011年の東北大地震以来途絶えていたが、2017年復活した実話が絵本になったもの。
4		ソフィーのくだものばたけ ゲルダ・ミュラー／作 ふしみ みさを／訳 978-4-7764-0812-3	BL出版 2018.7 1,700円+税	みんなが食べている果物は、どんなふうの実をつけるか知っていますか？フランスが舞台の物語ですが、サクランボ、クリ、ピーナッツなど、日本でもなじみのある果物の実のつけ方を知ることができます。
5		魔女のレッスンはじめます 長井 るり子／作 こがしわ かおり／絵 978-4-907108-21-2	出版ワークス 2018.7 1,400円+税	4年生の由紀は「魔女になりたい」という願いをかなえるために、「魔法」を信じないつばさをまきこみ、魔女修行を始めてしまう。どんな魔女に出会い、どんな修業をするのか。魔女のレッスン、初級編。
6		おれからもうひとりのぼくへ 相川 郁恵／作 佐藤 真紀子／絵 978-4-265-07263-7	岩崎書店 2018.8 1,200円+税	翔平もまさとも、おれの知っている二人じゃない。俺は、なにかのはずみで、違う世界に来てしまったのだろうか？日常の友情と新たな友情が心にしみる。
7		本屋さんのルビねこ 野中 終／作 松本 圭以子／絵 978-4-652-20262-3	理論社 2018.6 1,400円+税	本屋さんの片隅で本に積もったほりから生まれた小さな猫のルビ。チップスという友だちもできて冒険に出かけることに……。本屋さんの看板猫をめざして張り切るルビの物語。
8		シャンシャンと上野動物園パンダ物語 高橋う らら／文 土居 利光／監修 978-4-577-04699-9	フレーベル館 2018.7 1,380円+税	上野動物園のパンダの歴史や地元の人たちの思い、パンダの保護活動について、詳しく分かる本。シャンシャンの成長の様子も分かる。
9		佐藤初女物語 おむすびに心をこめて あんず ゆき／著 978-4-569-78797-8	PHP研究所 2018.9 1,400円+税	治らないと言われた病気を食事によって克服した佐藤初女さん。心をこめて、おむすびを作り、みんなを笑顔にする。「食べることは命をいただくこと」を実践している人の物語。
10		わたしをわすれないで ナンシー・ヴァン・ラーン／作 ステファニー・グラエギン／絵 角野 栄子／訳 978-4-89637-702-6	マイクロマガジン社 2018.3 1,500円+税	認知症になった祖母を慕う孫娘ジュリア。現実を受け止めて寄り添う心温まる物語。
小学校・高学年				
1		少女は森からやってきた 小手鞠 るい／著 978-4-569-78835-7	PHP研究所 2019.1 1,400円+税	殻にとじこもって、友達と距離をおきたいと思っていた美幸。そこへ、アメリカからエリカが転校してきた。宇宙人のようなエリカとの交流が美幸の心を広げていく。六年生の少女の物語。

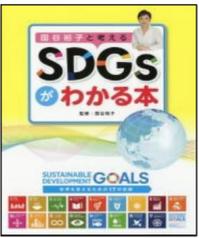
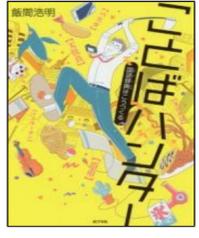
2		<p>ようこそ! 葉っぱ科学館 植物たちの声を聞く たえこ先生のわ! 観察記</p> <p>多田多恵子/写真・文 978-4-87981-660-3</p>	<p>少年写真 新聞社 2019.1</p> <p>1,500円+税</p>	<p>葉っぱにこだわった写真絵本。 写真だけでなく、葉っぱの生き残るための知恵や葉に付く虫など、葉っぱを通して見える科学のお話がたくさん掲載されている1冊。 「植物たちの声を聞きたえこ先生のわ! 観察記」</p>
3		<p>夕焼け色のわすれもの</p> <p>たかの けんいち/作 千海 博美/絵 978-4-06-514505-0</p>	<p>講談社 2019.2</p> <p>1,400円+税</p>	<p>転校生の忘れ物を届けに来た翔太と純は、いつの間にか不思議な団地に入りこんでいる。 昭和にタイムスリップ?と思われたが、祖父の持っている本の世界と同じで・・・。 祖父から翔太にこめた少年時代の思いが迫ってくる。</p>
4		<p>くまくらべ 世界のくまをくらべてみよう!</p> <p>ケイティ・ヴィガーズ/作 マシマ・インターナショナル株式会社/訳 978-4-88574-484-6</p>	<p>東京書店 2019.4</p> <p>1,380円+税</p>	<p>ヒグマ、ホッキョクグマ、ツキノワグマにジャイアントパンダまで、世界中のさまざまなくまの生態をくらべている。 食事、泳ぎ、木登りなどをイラストとともにわかりやすく学べる。</p>
5		<p>モノ・ジョーンズと からくり本屋</p> <p>シルヴィア・ビショップ/作 三辺 律子/訳 平澤 朋子/絵 978-4-577-04692-0</p>	<p>フレーベル館 2019.2</p> <p>1,400円+税</p>	<p>本屋さんの前に置き去りにされたモノ。 そのまま本屋の子どもの三人目として暮らすことになった。 そんなとき、「モンゴメリー本の王国」という大きな本屋のオーナーにみごと当選、ロンドンへと引っ越すのだが・・・。</p>
6		<p>チギータ!</p> <p>蒔田 浩平/作 佐藤 真紀子/絵 978-4-591-16226-2</p>	<p>ポプラ社 2019.3</p> <p>1,300円+税</p>	<p>教室の中で下忍のポジションにいる卓球が大好きな男女3人組。 クラスで行うレクを卓球にしたいと勇気を出して闘います。 少数派の意見は切り捨てられてしまうのか・・・。</p>
7		<p>えほん 東京</p> <p>小林 豊/作・絵 978-4-591-16220-0</p>	<p>ポプラ社 2019.3</p> <p>1,500円+税</p>	<p>おじいちゃんと散歩に出かけたぼく。 ところが進んでいくうちに、おじいちゃんが子どもの頃の東京の景色が見えてきた。いつもの東京が知らない景色へと変わっていく。 江戸から東京へ、まちの記憶を感じる旅の絵本。</p>
8		<p>竜之介先生、走る! 熊本地震で人とペットを救った動物病院</p> <p>片野 ゆか/作 高倉 陽樹/絵 978-4-591-16253-8</p>	<p>ポプラ社 2019.4</p> <p>1,400円+税</p>	<p>熊本自身で本人も被害にあった獣医師竜之介先生。 ペットは避難所には入れないことも多い中「ペット同伴避難所」を開設。 のべ1500組の動物と飼い主さんを救った汗と勇気のストーリー。 小説のように書かれているので読みやすい1冊。</p>
9		<p>ナマコ天国</p> <p>本川 達雄/作 こしだ ミカ/絵 978-4-03-437270-8</p>	<p>偕成社 2019.6</p> <p>1,600円+税</p>	<p>ナマコ酢、このわた、としてお酒好きの大人には知られているナマコ。 その生き物としての全体像を知る人は少ないだろう。 ダイナミックな絵と共にナマコの不思議や全体が、丸ごと分かります。</p>
10		<p>減っているってほんと!? 日本カエル探検記</p> <p>関 慎太郎/写真・文 978-4-87981-671-9</p>	<p>少年写真 新聞社 2019.5</p> <p>1,600円+税</p>	<p>カエルのことが大好きな関さん。 最近カエルが減ってきていると感じ、日本全国のカエルの住みかをまわります。 カエル探検をしているうちに様々なことが分かってきました。 日本のカエル全48種類。まるごと1冊、カエルだらけの写真絵本。</p>

2019年度（令和元年度）

夏休みにおすすめする本

選定 北海道学校図書館協会

選定協力 札幌市学校図書館協議会

	表紙画像	書名 著者名他 ISBNコード	出版社 出版年(月) 本体価格	※選定コメント もしくは出版社による紹介など
中学校				
1		国谷裕子と考える SDGsがわかる本 国谷 裕子／監修 978-4-7999-0301-8	文溪堂 2019.1 4,500円+税	SDGs（持続可能な開発目標）が、最近話題になっている。 90 ページで、わかりやすく説明。
2		ことばハンター 国語辞典はこうつくる 飯間 浩明／著 978-4-591-16072-5	ポプラ社 2019.1 1,200円+税	ことばを探して街を駆けまわる国語辞典編さん者の奮闘記。 国語辞典を作る仕事について、アニメ版「舟を編む」の監修もつとめた著者が豊富な実例をまじえて語る。 ポプラ社ノンフィクション(33)～生きかた～
3		ぼくにだけ見えるジェシカ アンドリュー・ノリス／作 橋本 恵／訳 978-4-19-864793-3	徳間書店 2019.2 1,500円+税	ファッションに興味があり、周りとはなじめないフランスは、「今まで誰にも見えなかった」幽霊の少女と出会い、少しずつ状況が変わっていく。
4		ヴァンダーカンマー ここは魅惑の博物館 樫崎 茜／著 978-4-652-20284-5	理論社 2018.11 1,400円+税	初めての職場体験先が、「博物館」に決まった5人の中学生。 「博物館かあ。いったい、どんなことをするんやろ」 最初は全く期待していなかったが・・・そこは、まさかの奇跡の部屋だった。
5		世界のいまを伝えたい フォトジャーナリスト 久保田弘信 久保田 弘信／著 978-4-8113-2564-4	汐文社 2019.1 1,500円+税	フォトジャーナリスト 久保田弘信の原点と、アフガニスタンなどでの取材経験などが語られる。
6		脱・呪縛 鎌田 實／著 こやま こいこ／絵 978-4-652-20288-3	理論社 2018.12 1,300円+税	人間は、呪縛から逃れられない生き物か？ 「雪とパイナップル」の作者であり、医師でもある鎌田實が、患者と向き合う中で生身で感じた生きる意味を、そのために持っていてほしい「呪縛から脱する力」を未来に進む十代に向けて語る。
7		おじいちゃんの大脱走 デイヴィッド・ウォリアムズ／作 三辺 律子／訳 平澤 朋子／絵 978-4-09-290617-4	小学館 2018.12 1,600円+税	時は1983年。 おじいちゃんはだんだん色んなことが、わからなくなってきて、イギリス空軍のパイロットとして振舞うようになってしまった。 「たそがれホーム」へ入れられたおじいちゃんに面会に行ったとき、孫のジャックは院長のあやしい行動を目撃して・・・。

8		徳治郎とボク 花形 みつる／著 978-4-652-20305-7	理論社 2019.4 1,400円+税	頑固な祖父とペットのシロと畑に行くボク・・・。 少しずつ弱っていく祖父と、娘や孫たちの、ふりまわされる姿を描きつつ、高齢者の「尊厳」を考えさせる。
9		クジラのおなかからプラスチック 保坂 直紀／著 978-4-8451-1566-2	旬報社 2018.12 1,400円+税	プラスチックによる海洋汚染について解説。 マイクロプラスチックや海洋プラスチック憲章（2018年6月）など最新の話題も含む。
10		太陽ときみの声 明日の、もっと未来へ 川端 裕人／作 978-4-909064-56-1	朝日学生新聞社 2018.11 1,200円+税	『太陽ときみの声』の続編。 朝日中高生新聞にて2017年10月1日～2018年3月25日まで連載の作品に、加筆・修正を行ったもの。
高等学校				
1		ヴィオラ母さん 私を育てた破天荒な母・リョウコ ヤマザキ マリ／著 978-4-16-390962-2	文藝春秋 2019.1 1,300円+税	世界を舞台に生きる漫画家・ヤマザキ マリ。 その母、リョウコは著者を出産後すぐに夫と死別する。 その生き方はアッパレでスゴくて、温かくて、笑えて、感動！
2		本と鍵の季節 米澤 穂信／著 978-4-08-771173-8	集英社 2018.12 1,400円+税	開店休業同然の開古鳥が鳴く高校図書館。 図書委員の男子ふたりが、図書館に持ち込まれる謎に挑み、自身の問題にも向き合う物語。
3		思いつきで世界は進む 「遠い地平、低い視点」で 考えた50のこと 橋本 治／著 978-4-480-07196-5	筑摩書房 2019.2 780円+税	知に裏打ちされた目で論じられた時事問題エッセー。 特に「自己承認欲求」と「自己主張」の違いは秀逸。 ちくま新書 1384
4		よたんぼう 桂 歌蔵／著 978-4-04-107862-4	KADOKAWA 2019.3 1,600円+税	噺家になるべく15歳で内弟子となり、厳しい修行に耐えやと二つ目に。 今までの反動が破天荒な生活を送りついに破門に・・・。 現役の落語家が描く若き落語家の奮闘記。
5		アイヌ文化で読み解く 「ゴールデンカムイ」 中川 裕／著 978-4-08-721072-9	集英社 2019.3 900円+税	日露戦争直後の北海道を舞台にした人気漫画『ゴールデンカムイ』。 その作品世界はアイヌ文化をあらゆる角度から理解することができる。 アイヌ語の専門家が案内する魅力的アイヌ文化入門。 集英社新書 0972